

2月21日 朝の勉強会 長野中央病院 酒井先生
テーマ「小児のインフルエンザ」



長野中央からの留学生です
1か月間 放射線科で研修をしました

小児のインフルエンザは、気管支喘息などの既往症がなく、合併症の所見がない場合、解熱薬によって1週間程度で症状は改善することが多い。

抗ウイルス薬の処方についても対象範囲は限定されており小児全例への投与は副作用や耐性ウイルス発生のリスク。但し、既往症や合併症があるなど、インフルエンザの臨床的な診断で抗ウイルス薬を使用すべき時もあり。

発症数日後の合併症が多い。悪化時の再診の説明は大切